



学校の役割について

校長 石岡秀久

令和5年度も残すところわずかになってきました。よく言われていることですが、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」と慌ただしさを表現した文言があります。学校関係者は「3学期は0学期。」と次年度の準備を促すような表現もあったりします。三島硫黄島学園も全てが順調というわけではありませんが、毎日の教育活動を全力で行っています。

今年度の取組を振り返ってみると、「内に向けての充実」を図つてきた1年だったと考えます。「環境整備」「マスメディアへの露出」等については、児童生徒・保護者・地域の方々に分かりやすいところですが、「内に向けての充実」は見えにくい部分があります。ややもすると、充実を図っている当人ですら気付きにくいこともあります。「業務改善」「学習者主体の授業」等、学校現場も社会の変化に応じて変化していますし、変化していかなければなりません。

では、「学校」って何だろう? 「学校の役割」とは何だろう。児童生徒の視点に立つと「学びの場」であり、教職員の視点では「職場」だと考えます。地域住民にとってはどうでしょうか。学制が施行されて以来、学校は様々な役割を果たしてきました。「学習」「集団行動」「公衆衛生」「文化の発信」などです。時代により役割も変化してきました。

昔も今も、未来であっても、学校が児童生徒・保護者・地域の方々・学校職員の「元気の源」であり続けてほしいと切に願います。三島硫黄島学園もみんなさんの「元気の源」になれるよう努めたいと思います。今後とも、御指導・御支援のほどお願いいいたします。

〈決意新たに令和6年〉～3学期始業式～

令和6年になって凜々しい顔で学校に登校してきたみしまっこたちは、1月9日(火)希望の光が差し込む集会室で決意新たに3学期の始業式を迎えました。あと少しで令和6年度の新しい学年が始まります。一つ学年が上がる準備の学期、高等学校等の上級学校に進学していく9年生、後期課程に進級する6年生、新入生を迎える在校生、みんながこの3学期で準備をしっかりとして、新たな学年に希望をもって進んでほしいです。



やくざいしこうわ 〈薬剤師講話〉～将来の夢～

1月17日(水)学校薬剤師の先生に来ていただき、薬剤師の仕事内容や薬剤師になるためにどのようなキャリアを積むべきか、講話をしていただきました。先生の仕事に対する使命感に感銘を受けました。子供たちは生き生きとした表情で受け止めて、自分の将来について真剣に考えるきっかけとなりました。



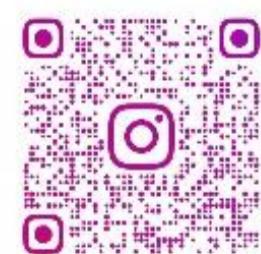
にほんぶんか 〈日本文化を大切に〉～百人一首大会～

22・23日の二日間、児童生徒会の主催で大会が開かれました。今年度は1年生も百人一首に挑戦しました。大会までに一生懸命に和歌を覚えて当日を迎えるました。さすがに後期生が勝ち上がりましたが、前期生も善戦し、楽しい大会となりました。美しい和歌のリズムに触れ合うよい機会となりました。



かん 〈硫黄島学園の挑戦〉～「観」のアップデート～

「人生100年時代」の現在、時代の流れスピードが速く、予測困難な社会において大事なのが「多様性を認めること」「様々な意見の人と協働すること」「最適解や納得解を生み出すこと」です。子供たちに力を付けるため、私たちは教育観・子供観・授業観等のアップデートをして「学習者主体の授業」を模索していきます。



インスタ
フォロー
してね!



MISHIMAKKO1

みしまっこ
日記も
よろしく